

地域のみなさんと医療を結ぶ。阿蘇立野病院のコミュニケーションマガジン

春号

Spring No.

たての日和

No. 10

医療法人社団 順幸会
阿蘇立野病院 発行

TATENO BIYORI

阿蘇立野病院

Asotateno Hospital

幾度の災厄を
乗り越えて

「挑戦」

To Challenge

「挑戦」

「挑戦」のありかた。

平成28年4月、私たちは熊本大地震という災厄に見舞われました。そして4年が経った令和2年4月、病院の前の国道57号線現道や新しい大橋がまさに完成せんとしています。本当に有り難いことです。

眼前に繰り広げられている光景、つまり人間による工事という営みをほぼ毎日見ている私たちにとって、それは亀の歩みのようで決して派手ではありません。しかし、久しくして訪れて来られる人々にとっては、衝撃的かつ感動的な光景だと口を揃えたように言われます。

今から4000年以上昔に書かれた易経に「復はそれ天地の心をみるか」とあります。解釈は色々あるようですが、復は復興、復習の意だそうです。天地（自然）は、黙々と繰り返して、飽きることも無きがそれ本来のあり様ということでしょうか。自然は素晴らしい景観ばかりではありません。こういう破壊からの営みを美しいと思う心は天地、自然の一部である私たちだからこそ4000年も昔から理解できるのです。今月

号では私の心臓外科医としての薫陶を受けた師匠で、困窮した不肖の弟子である私に救いの手を伸ばされた仏様のような中島昌道先生にご投稿頂きました。先生のみならず数多の皆様から助けを頂いたことが私にとって最も美しく尊いことと思えてなりません。重ねて深謝申し上げます。

現在、世界が新型コロナウイルス感染症の攻撃を受けているといっても過言ではないでしょう。人間という種を守るために一人ひとりが主人公となり、自らの命は自らで守るという積極的な強い意志の重要性は繰り返して起こる災厄から学んでいます。これを倦むことなく実践することが「挑戦」の一つの姿だと思います。人生はあらゆる挑戦の連続だとつくづく感じます。



理事長・院長 上村 晋一

内科外科奮闘記

毎週金曜日、午後から外来診療をされている中島昌道先生です。先生は、理事長や生野先生の心臓血管外科の恩師で、現在も熊本赤十字病院や金沢医科大学で、教授もされています。多忙な日々を送られている先生が、当院への思いや日々を綴られた奮闘記を別紙にてご紹介します。

阿蘇立野病院
内科外科担当医奮闘記

中島 昌道先生



これからが挑戦の時!

そのことから4年が経過しました。関係者の方々の奮闘努力によって、徐々に復旧～復興へ向かいつつあります。今年度中には、ある程度のアクセス<JR、国道、新大橋、大津～のトンネル>が開通、回復するとのこと聞かれています。私たちの施設、阿蘇立野病院は完全とは言えませんが、外来、入院施設も部分的に復旧しております。これからが、復旧、復興の正念場です。人々の心に深く傷を残した震災、私たちは日々挑戦の志で、地域医療、福祉に取り組んでおります。よりよい医療、福祉、幸福へのお手伝いができるよう、これからの阿蘇立野病院は挑戦します。ご期待ください。

内科・循環器科

生野 俊治先生



各部署からのごあいさつ

発酵食品を使った 料理教室

【料理教室 / アフタヌーンティー】

発酵食品を使った料理教室、第2回を開催しました。パレインタインデーが近かった事もあり、地域のお味噌を使った生チョコやブラウニー、南阿蘇村のパン屋さんのパンを使ったサンドイッチ、塩麹を使ったスコーンやケーキもありました。作り方を学んだ後、食事会もあり、皆さん喜ばれていました。



料理教室

Cooking Class

医事課

Medical Affairs
Division



皆様の親しみやすい 窓口であるために!

【事務局 / 医事課】

患者さんが病院に来られて、最初と最後に接する窓口です。患者さんに、安心して受診していただけるよう『目配り』『気配り』『心配り』を心掛け、親しみやすい窓口でありたいと思います。「ぬくもりと安心の医療」という病院理念に基づき、スタッフ一同頑張りたいと思います。

信頼される臨床検査の 実践を目指して

【臨床検査課】

臨床検査課では、血液、尿などを調べる検体検査、心電図、エコーなどの生理機能検査を行っています。診断・治療が効果的に行われるように、迅速・正確な検査結果の提供を心がけています。女性3人の部署なので、笑顔と丁寧な対応で安心して検査を受けて頂けるよう日々努力しています。



臨床検査課

Clinical examination
section

